

視点

社会保障費の 継続的な削減

こども・子育て加速化プランの財源3・6兆円のうち、1・1兆円は2028年までの歳出改革と貢
上げで社会保障負担率を上昇させ
ずに賄うことになっている。
保険料＋公費＋患者負担＝医療
費という財源構成に照らすと、医
療費は物価・賃金の上昇で医療経
営が厳しい中マイナス改定で圧縮
することはできない。その財源も
公費と保険料の両方を下げるには
患者負担を増やすしかない。高額
療養費の見直しに象徴される患者
負担増は一過性でなく、当分継続
することになる。その方法は、政

党間で協議が始まったOTC類似
薬の保険給付外しや高齢者の応能
負担の強化もありえるが、いずれ
も病人に負担を被せることになら
ない。
給付と負担に関し、厚労省の意
識調査では「給付水準を引き上げ・
維持し負担増はやむを得ない」が
約5割で「給付水準を引き下げる」
の倍であり、健保連の意識調査で
も「給付を絞るべき」と「医療費
の負担増はやむを得ない」は拮抗
している。一般国民が高額療養費
のセーフティネットを棄損してま
で月3〜4000円の保険料軽減を

求めているのか疑問である。
高額療養費について審議会では、
被保険者代表が長期療養患者等の
負担増に懸念を表明する中、保険
者や経済界は大幅引上げや高齢者
の外来特例の廃止まで主張してい
たが、これは本当に被保険者、従
業員の声を反映したものでしょうか。
年齢に因らず能力に応じて負担
する「全世代型社会保障」や政党
間協議による社会保障料軽減を推
進するなら、従来軽視されてきた
負担を直接被る患者、高齢者や一
般国民の声をより丁寧に汲み取る
べきだろう。

社会保険旬報

目次

No.2960 2025年4月11日

視点

社会保障費の継続的な削減 3

座標

猪口全日病会長が今期退任を表明
都道府県病院協が大臣に緊急要望 4
2023年度の少数区域認定医師数
令和7年度からの制度変更 5

レコーダ

医療経済フォーラム・ジャパン
第120回定例研修会
性差医学・医療の日本導入から
女性の健康ナショナルセンターが
創設されるまでの道のり
天野恵子 6

動向

世界に誇る皆保険制度。
次の世代に引き継ぐのが責務
—高齢者医療・国保課長等会議 18

論評

ナショナルデータベース（NDB）解析による
新型コロナウイルス感染症に対する
保険診療下での治療薬処方の実態
武島智美 池上直己 五十嵐中 岩崎宏介
..... 22

ジュネーブからの便り②①

タイヤ交換
中谷祐貴子 29

潮流

医療事故調10年目の2024年年報 30
支払基金の令和7年度事業計画 32
零売薬局の規制強化が議論に 34
2023年度公的年金財政状況報告 35
5年度地域保健・健康増進事業報告 36

NEWS

介護施設のクラスターへの配慮で
特例的な取扱いを継続 38

雇用・労働の動き 41

編集室・ワードカプセル 42